ＥＳＤＧｓ通信の号外・郵送版の公開　手島利夫です

皆様、いかがお過ごしですか。今回は、8月末に、各都道府県教育長様、政令指定都市教育長様、東京都内各区市町村教育長様に宛てた、ＥＳＤＧｓ通信号外・郵送版のご紹介です。

　もう一つの添付資料（新着情報10－79）とセットになっています。この発信自体、意味あるかどうか何とも言えませんが、まあ、送ってみました。さすがに全国の市区町村教育長さんや教育委員さん方までは送り切れませんでした。皆さんのお知り合いにいらっしゃったら、「こんな怪文書を見つけましたよ！」と、ご紹介いただけると幸いです。

都道府県教育長様

政令指定都市教育長様

東京都内各区市町村教育長様

　激変を続け、正解の見えない社会の課題が次々に押し寄せる中、教育委員会の最高責任者として日々お勤めくださり、ありがとうございます。

　私は再任用も含め13年間の校長職を退職し、3年目になる者ですが、コロナ禍の中、学校を経営されている先生方やそのご指導をされていらっしゃる皆様の、様々なご配慮やそれに伴うご苦労の程は、大変なものだろうと拝察いたしております。

　ポストコロナ時代の新しい学び方などを検討してきた中教審初等中等教育分科会の中間まとめ案を見ると、「日本型学校教育の良さを受け継ぎながら発展させ、働き方改革とＧＩＧＡスクール構想を推進しながら新学習指導要領を着実に実施することが必要である。」と示されております。

　しかし、全国各地の学校や教育委員会様のご依頼で、教育課程や、教育推進基本計画等を拝見していると、学習指導要領で示されている理念が、十分にはとらえきれていない実態が少しずつ見えてまいりました。またそのことと関連して、文部科学省の学習指導要領解説の中にも課題を感じるような事例が見えてきました。

　私は、このような気づきを「ＥＳＤＧｓ通信」として知り合いの皆様約1800名にメールでお伝えしたり、ホームページ「ＥＳＤ，ＳＤＧｓを推進する手島利夫の研究室」から発信したり、報道機関を通じてお届けしたりしてきました。しかし、今回、都内のある市の全小学校の教育課程を拝見し、その中に「カリキュラム・マネジメント」という文言を書き込んでいるのが1校しかなかったという事実に愕然といたしました。東京以外で調べてみても、同様の状況がかなり広がっています。また、「カリキュラム・マネジメント」以外にも様々な課題が見つかっております。

　そこで、皆様方の都道府県・政令指定都市から、「だれ一人取り残すことなく」「持続可能な社会の創り手」が育つことを願って、今回は、各教育委員会の教育長様宛に手紙による情報の提供をさせていただくことにしました。もちろん都内の島嶼部も含め６２の教育委員会教育長様、指導室課長様にもお届けしたところです。

　私の理解不足による、的外れな話と感じられるようでしたらお読み捨てください。皆様のご参考にしていただける部分が多少でもあれば、幸いです。

　残暑が厳しい日々が続きそうです。一層ご自愛ください。

　令和2年8月吉日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　前東京都江東区立八名川小学校長　手島利夫 拝

* 東京都以外の例ですが、ある教育熱心な市の教育ビジョンでは、全体としては素晴らしい記述にあふれているにも関わらず、カリキュラム・マネジメントを「教育課程編成上の課題」としては捉えきれず、学校経営上のに位置づけました。そのため、学習指導要領で示す2つの要点の内の１つを見失っていました。~~全国的にも多い問題ですのでその資料も同封します。~~（ＳＤＧｓ通信とＨＰ上には公開を控えます）